

単元名

東北地方 —伝統的な生活・文化を受けつぐ人々の暮らし—

1 単元のねらい

東北地方の人々の生活と環境について、特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目させて多面的・多角的に考察、表現でき、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとすることができる。

2 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------|---|--|---|
| 単元の評価規準 | <p>・東北地方の人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。</p> | <p>・東北地方における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現している。</p> | <p>・東北地方の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・学習に進んで取り組み、東北地方の人々の暮らしと自然環境とのかかわりを捉えようとしている。</p> |

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

| | 1 | 2 | 3 | 4 単元のまとめ |
|---------------|---|---|---|-------------|
| 知識・技能 | ● | ● | ○ | |
| 思考・判断・表現 | | | ● | ○ |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ● | | | ○ |

3 単元構造図（全4時間） ☆獲得する認識

| | |
|---|--|
| <p>単元名 東北地方 —伝統的な生活・文化を受けつぐ 人々の暮らし—</p> | <p>単元学習前の生徒の認識 東北地方は、祭りや伝統工芸品が有名だが、どうして有名なのか詳しくは知らない。東日本大震災があったことを知っている。そのあとどのようにして、地震対策をしていったのかを知りたい。</p> |
| <p>第1時 東北地方をながめて【○知識・技能 ●主体的に学習に取り組む態度】 東北地方を大きくながめると、どのような特徴が見られるだろうか。 ☆リアス海岸 ☆潮境 ☆やませ</p> <p>東北地方には、3つの山地があり、山地の間にある盆地に人口が集中している。三陸海岸沖には、潮境があり、豊かな漁場になっている。太平洋側と日本海側で気候が大きく異なり、太平洋側では、冷害をもたらす「やませ」が吹くことがある。</p> | |
| <p>東北地方はどのような伝統的な生活・文化を受けついでいるのだろうか。</p> | <p>第2時 祭りや年中行事の伝統と変化 【●知識・技能】 東北地方には、どのような伝統的な生活や文化が受け継がれているのでしょうか。</p> <p>☆重要無形民俗文化財 ☆伝統行事</p> <p>東北地方では、地域の自然や生活、文化が強く反映された伝統行事や祭りが残っている。国の重要無形民俗文化財になっているものもある。寒い冬の保存食として、漬物が親しまれている。</p> |
| | <p>第3時 伝統工芸品の生産・販売と変化【●知識・技能】 東北地方の伝統産業はどのように成立し、変化しているのでしょうか。</p> <p>☆伝統産業 ☆伝統的工芸品 ☆地場産業 ☆工業団地</p> <p>東北地方では、雪で覆われて農作業ができない冬にできる仕事として、伝統産業が発達した。会津若松市周辺では、精密機械や電子部品の工場が並んでいる。さまざまな社会変化に対応しながら、伝統的な技術を生かしたものがくりが行われている。</p> |
| | <p>第4時 過去の継承と未来に向けた社会づくり【○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度】 東北地方では、東日本大震災の経験や、過去の災害の教訓を、どのように生かそうとしているのだろうか。</p> <p>☆東北地方太平洋沖地震 ☆東日本大震災</p> <p>東北地方では、東日本大震災の教訓を生かして、災害に強いまちづくりをしている。また、一人一人の防災意識を高める取り組みも行われている。</p> |
| | <p>東北地方には、伝統的な生活や文化が受け継がれている。豊作を祈る祭りや、伝統的工芸品を作る技術が残っている。時代とともに変化し、観光として祭りを利用したり、輸出向けの伝統的工芸品を作ったりしている。また、東日本大震災での教訓から、災害に強</p> |

単元学習後の生徒の認識

伝統的工芸品は農業ができない冬の仕事として作られていたことがわかった。祭りや年中行事は、豊作や仕事をなまけるいましめのためにやっていることがわかった。伝統的な生活や文化は、人々の暮らしや、東北地方の環境と密接に結びついていた。東日本大震災の被害を受けた地域として、災害に強いまちづくりに地域全体で取り組んでいることがわかった。

4 単元指導計画

| 時 | ねらい | おもな学習活動 | 評価規準 | 資料および留意点 |
|----------------------|---|--|---|--|
| 1 東北地方をながめて | <ul style="list-style-type: none"> 東北地方についての基礎的・基本的な知識を身につける。 東北地方の地域的特色を理解するために、「東北地方には、なぜ伝統的な生活・文化を守り、継承する動きが見られるのでしょうか。」という探究課題を立て、見通しをもって主体的に追究する。 <p>★リアス海岸 ★潮境 ★やませ</p> | <p>1 東北地方の地形図を見て、気づいたことを意見交流する。</p> <p>東北地方を大きくながめると、どのような特色が見られるのだろうか。</p> <p>2 地形図を読み取り、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央に大きな山脈が三つある。 海岸はリアス海岸だと思う。 <p>3 雨温図を読み取り、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本海側と太平洋側で気候が違う。 太平洋側にはやませが吹いている。 <p>4 東北地方の様子を大きく掴み、単元を貫く課題を設定する。</p> <p>≪単元を貫く課題≫</p> <p>厳しい自然環境の中で、人々はどのように伝統を守り、生活しているのだろうか。</p> <p>5 本時のまとめとして、単元を貫く課題に対する予想を書く。</p> <p>東北地方には、3つの山地があり、山地の間にある盆地に人口が集中している。三陸海岸沖には、潮境があり、豊かな漁場になっている。太平洋側と日本海側で気候が大きく異なり、太平洋側では、冷害をもたらす「やませ」が吹くことがある。</p> | <p>山地が多く、東西で大きく気候や、盛んな産業、人口の特色を理解し、その知識を身に付けている。(知識・技能)</p> <p>単元の課題に対する自分の考えをもっている。(主体的に学習に取り組む態度)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◇東北地方の自然環境 ◇東北地方の人口 ◇やませによる霧と東北地方の冷害 ◇東北地方各地の雨温図 |
| 2 祭りや年中行事の伝統とその変化 | <ul style="list-style-type: none"> 東北地方の生活・文化について、伝統的な民俗行事の資料を通して理解する。 東北地方の伝統行事や習慣を通して、自然環境や歴史的背景、産業などの地域的特色を理解する。 <p>★重要無形民俗文化財 ★伝統行事</p> | <p>1 祭りの写真を見せて、意見交流をする。</p> <p>東北地方には、どのような伝統的な生活や文化が受け継がれているのでしょうか。</p> <p>2 東北地方で伝統行事が行われてきた目的を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊作や豊漁を願うために行っている。 悪いこと、仕事をしないことへのいましめのために行っている。 祖先に感謝するために行われている。 <p>3 なぜ8月上旬に祭りが集中しているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客が集まりやすいように夏休みやお盆の期間に行っている。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>東北地方では、地域の自然や生活、文化が強く反映された伝統行事や祭りが残っている。国の重要無形民俗文化財になっているものもある。寒い冬の保存食として、漬物が親しまれている。</p> | <p>独特の民俗行事や習慣を示す写真資料を通して、東北地方の生活・文化の特色を理解している。(知識・技能)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◇男鹿半島のなまはげ ◇青森のねぶた祭 ◇山形花笠まつり ◇盛岡さんさ踊り ◇仙台七夕まつり ◇秋田竿灯まつり ◇福島わらじまつり ◇主な夏祭りの日程 |

| | | | | |
|---|--|--|--|---|
| <p>3 伝統工芸品の生産・販売とその変化</p> | <p>・東北地方の伝統産業や地場産業の特色について、自然環境との結びつきから理解する。</p> <p>・伝統的な産業が、世界市場や社会の変化と結びつきながら変化し、発展していることを考察している。</p> <p>★伝統産業 ★伝統工芸品 ★地場産業 ★工業団地</p> | <p>1 伝統的工芸品の写真を見せ、いつ頃から作られているか予想する。 ・江戸時代ごろからだと思う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>東北地方の伝統産業はどのように成立し、変化しているのでしょうか。</p> </div> <p>2 伝統的工芸品が作られるようになった理由を考える。 ・寒い冬でも家で作業ができるから。 ・冬は雪が多くて、農業ができないから、伝統工芸品を作りだしたと思う。 ・材料がよくとれるから。</p> <p>3 二つの南部鉄器を比較して、違いとその理由を交流する ・デザインが大きく変わっている ・海外へも輸出している。 →時代に合った製品を作っている</p> <p>4 本時のまとめを地図を活用してまとめる。</p> | <p>東北地方の伝統産業や地場産業が発展した理由について、自然環境の特色と関連づけて理解している。それを地図を活用してまとめている。 (知識・技能)</p> <p>伝統的工芸品が作られる理由を既習内容を踏まえて考察している。 (思考・判断・表現)</p> | <p>◇輸出向けに作られた南部鉄器 ◇東北地方の主な伝統的工芸品 ◇南部鉄器の輸出額の移り変わり ◇東北地方の主な工業団地</p> |
| <p>東北地方では、雪で覆われて農作業ができない冬にできる仕事として、伝統産業が発達した。会津若松市周辺では、精密機械や電子部品の工場が並んでいる。さまざまな社会変化に対応しながら、伝統的な技術を生かしたものづくりが行われている。</p> | | | | |
| <p>4 過去の継承と未来に向けた社会づくり</p> | <p>・東北地方でくり返されてきた地震や津波の被害に注目し、被災した人々が残した教訓について理解している。</p> <p>・東北地方の生活・文化と不可分な災害の歴史と教訓を通して、先人の思いや今後の生活の在り方について考察する。</p> <p>★東北地方太平洋沖地震 ★東日本大震災</p> | <p>1 石碑の写真を見せ、書いてあることを読み取らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>東北地方では、東日本大震災の経験や、過去の災害の教訓を、どのように生かそうとしているのでしょうか。</p> </div> <p>2 地震の被害を知る ・津波の高さが 30 メートルを超えているところがある。 ・東日本大震災のときはマグニチュード 9 以上あった。</p> <p>3 東日本大震災を教訓にして、自分たちになにができるか、グループで考える。 ・東北では、津波がこないように高台に街を作るようにしている。 ・ハザードマップをしっかりと確認しておく。 ・自分の命を守るために避難訓練をしっかりとする。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> | <p>・石碑や伝承などを通して人々がどのような思いで災害の教訓を受け継ぎ、未来へ向けて生かそうとしてきたのか、考察し、表現している。 (思考・判断・表現)</p> <p>・東日本大震災の被害の経験について関心をもち、過去の災害の教訓がどのように生かされているのかを理解し、これからの社会や生き方につなげている。(主体的に学習に取り組む態度)</p> | <p>◇石碑の写真 ◇三陸沖で発生した主な地震 ◇東日本大震災の各地の津波の高さ ◇高台移転のための造成工事 ◇宮城県東松島市の復興計画</p> |
| <p>東北地方では、東日本大震災の教訓を生かして、災害に強いまちづくりをしている。また、一人一人の防災意識を高める取り組みも行われている。</p> | | | | |